

或本の歌一首

二四四番

み吉野の 三船の山に 立つ雲の 常にあらむと
我が思はなくに

ながたのおほきみ 長田王、筑紫に遣はされて、水島に渡る時

の歌二首

二四五番

聞きしごと まこと尊く 奇しくも 神さびをる
か これの水島

二四六番

芦北の 野坂の浦ゆ 舟出して 水島に行かむ
波立つなゆめ